

記載例2 様式第8号 [対象刑が2刑ある有期刑仮釈放者の復権の例]

恩赦願書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇保護観察所長 ○○○○ 殿

氏名 ○○○○ 印

下記のとおり恩赦の出願をします。

氏名	○○○○		
生年月日	昭和〇年〇〇月〇〇日	職業	設備工
本籍	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		
住居	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇		
言渡し裁判所	(1刑) ○〇簡易裁判所 (2刑) ○〇地方裁判所		
言渡し年月日	(1刑) 平成〇〇年〇月〇日 (2刑) 平成〇〇年〇月〇日		
罪名・刑名・刑期・金額及び犯数	(1刑) 道路交通法違反 罰金10万円 (2刑) 業務上過失致死, 道路交通法違反 懲役1年6月 2犯		
刑執行の状況	(1刑) 刑終了年月日 平成〇〇年〇月〇日 (2刑) 刑の始期 平成〇〇年〇〇月〇〇日 仮釈放の年月日 平成〇〇年〇月〇日 刑終了の年月日 平成〇〇年〇月〇日		
恩赦の種類	復権		
出願の理由	別紙のとおり		
添付資料	戸籍謄本1通		
付記	該当なし		

別 紙
(出願の理由)

私は、23歳のときに飲酒運転で罰金刑に処せられ、さらに、25歳のときに、飲酒運転から居眠りをしてしまい、一人の方を死亡させる事故を起こしました。取り返しの付かない結果を招いた自分の軽率さ、甘さを深く反省し、被害者と御遺族の方には、ただただ申し訳ない気持ちで日々を過ごしております。御遺族からいただいた被害者の方の御遺影に手を合わせたり、墓前にお参りに伺うたびに、自分の犯した罪の深さを実感し、後悔の念で胸が一杯になります。

服役中は、被害者の方を忘れずにおきましたし、何より、御遺族の方がつらく、悲しい思いをされているのだと考え、自戒の念を強く持つことを心掛けていました。

出所後は、〇〇事務所の社員として働かせていただくことができ、周囲の方の助けもあって今日に至っております。最初は仕事がうまくいかず、気持ちが滅入ることもありましたが、両親を始め、これまで支えてくれた人のことを考え、何とか続けることができました。今では、少しずつ責任のある仕事を任せもらえるようになりました。

そして、昨年は以前から交際していた女性と、自分の前歴を承知してもらった上で結婚することができました。

自分の犯した罪は、一生背負っていくべきものであり、また、今後とも被害者の御冥福を祈り続ける気持ちには変わりはありません。しかし、前科があることで、妻やその親戚の方々に、いつか迷惑が掛かるのではないかと不安に思うことがあります。また、将来〇〇〇士の資格を取った後、仕事上で何らかの影響を受けるのではないかと心配です。

このような気持ちを保護観察官に伝えたところ、復権という恩赦の制度があることを教えてもらいました。御遺族の気持ちを考えると、厚かましいことだと悩みもしましたが、私や妻を支えてくれた自分たちの家族や、仕事の面で私を支えてくれた人たちを少しでも安心させたいと思い、また、将来資格を取った際には、自分の仕事にまい進したいと思い、この度、恩赦の出願をすることにいたしました。

何とぞよろしくお願ひいたします。